三条通 マップ
SANJO MAP

寺町～烏丸
TERAMACHI ～ KARASUMA

見て歩いて楽しいまちなみ三条通

食べ歩きやショッピングも楽しいけれど、古い京町家や近代建築、現代の建築が調和しているまちなみをゆっくり見て歩いてみませんか？

日本で最初、京で一番（1）

＜時計塔＞　富小路西入ル

家邊徳時計店の屋上で 20 年近く時間を教えた時計台は、明治 23 年（1890）同店がハイカラな赤煉瓦の洋館を新築するにあたり、生まれ変わった。美しいロココ調の大時計塔は街の彼方からも望め、多くの人々に時を知らせた。日本最初の蹴上水力発電所完成に貢献した大沢善助翁が協力したといわれる。

＜電話＞　烏丸

明治 30 年（1897）現在の NTT 西日本ビルに電話局が開かれ、市内の 210 名の加入者にサービスを始めた。通話機の横の電磁式ハンドルをくるくる回すと、局の交換が応答し、「何ばんへ」との美声が流れてくる。そして相手の電話にケーブルが繋がれていく。ちなみに交換手はこの時代、女性に人気の的で良家の才女達の憧れの仕事であった。

A アートコンプレックス 1928

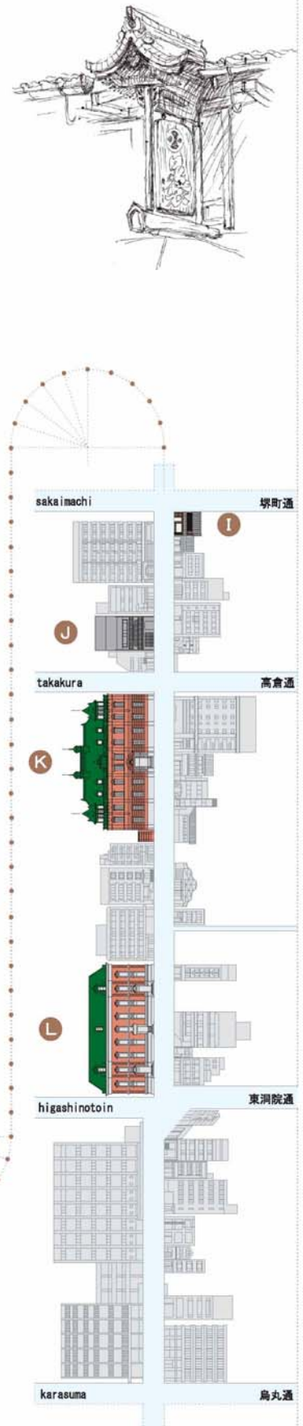
昭和天皇即位記念で、大阪毎日新聞社が京都支局を建てた（昭和３年／武田五一設計）。窓の庇やバルコニーなどに、大正末から昭和初期にかけて流行したセセッションの影響が表れている。毎日新聞社の社章である星型の装飾があちこちに散りばめられている。現在は、貸ホール、ギャラリー、飲食店、ミニFM局などが入っている。
京都市登録文化財。

B 三条ありもとビル

南禅寺にある疎水橋のアーチをモチーフとしてファザードに取り込んだ複合商業ビル（平成元年）。外壁のコンクリートは古くからそこにあったかのように待ち受けるように屋根だけをうけである。「有本商店」は、明治 18 年に三条柳馬場で創業した洋服店で、大正 9 年に御幸町に移り、アールデコ調の木造 3 階の洋館を建てたが、昭和 43 年に焼失した。
京都市都市景観賞入選。

C 福井朝日堂

明治 25 年に、絵草紙和紙工芸品の製造販売を始める。人工三色版による名所絵はがきが人気を博た。京都ならではの素材と技法を用いて、日本の伝統文化を全国、海外に紹介している。平成 5 年に完成した現社屋は、三条の近代建築との調和を意識して、赤レンガと御影石のデザインを採り入れている。



＊A～Lの図は、建築を拡大しております。
資料提供：（社）京都府建築士会

G 西村吉象堂

大正 13 年創業の陶器・工芸品の店。平成 3 年に、町家の外観を活かして内部を全面改装し、2 階がギャラリーになった。三条界わい景観整備地区の界わい景観建造物に指定されている。

H 分銅屋足袋店

江戸末期から続く足袋専門店。天明 8 年（1788）の大火の直後に建てられたという棟札の残っている商家。
界わい建造物指定。

I 石ど寿屋

明治 39 年創業の、袋物、和装小物を扱う店。天明 8 年（1788）の大火のあとに建てた商家を全面補修した。
界わい建造物指定。

日本で最初、京で一番（2）

＜ボーリングレーン＞　柳馬場

メンソレータムの生みの親としても知られる米国人ヴォーリズの監督の下、明治 43 年（1910）京都 YMCA 会館がオープンした。大正 5 年（1916）米国よりボーリング 2 レーンを輸入し、地下室に設置した。ボーリングは当時、青少年の智徳向上を目的としたスポーツであった。米国ブランズウィックス社製のこの装置は本格的な 10 ピン方式だった。

＜市民ラジオ＞　御幸町

平成 15 年（2003）NPO による FM ローカル局「京都三条ラジオカフェ」が、79.7 メガヘルツ出力 20W で、市街のほぼ全域を対象に放送を開始した。地域と密着した番組は、NPO 会員とボランティアによる手作りのもの。法然院の貫主と若者がチャットする「ボンズカフェ」、歌手が DJ を務める「ハッピーランド」、京都中央市場の「野菜果物便り」など地元の新しいメディアとして盛り上がりを見せている。

歳　時　記

1 月	源氏物語千年紀（文博）
2 月	餅つき大会（文博前ステージ） 京都工芸繊維大学 造形工学科卒業制作展（文博） 三条あかり景色（三条通）
3 月	上方落語会（文博）
4 月	アートフリーマーケット（文博、三条通）
5 月	
6 月	J&J ジャズコンサート（文博ホール）
7 月	市民参加宵山コンサート（文博ホール） 祇園祭還幸神輿（三条通）
8 月	
9 月	
10 月	アートフリーマーケット（文博、三条通） 京都学生祭典みこし（三条通、他） オータムミュージアムコンサート（文博ホール）
11 月	まちなかを歩く日（三条通、他）
12 月	YMCA クリスマスキャロル（京都 YMCA 会館、三条通）

三条通り

東山と遠なる九条山を越え、蹴上げの下りにさしかかる旅人の足元へ、波打つ松林に余多の甍が浮かぶ大海が広がってくる。京のみやこが艶やかにその姿を見せはじめるのだ。
東海道五十三次の上りとなる三条大橋はもう目前に迫り、耳を澄ませば鴨川のせせらぎが聴こえてくる。橋を渡った辺りでは旅籠屋が軒を連ね、客を待ち受ける宿場の女たちの声が賑々しく響く。その中をまっすぐ西へ駆け抜けていく通りが三条通り。
往時を説明する一文がある。
――平安京以来の大路として町を横真っ二つに割った中心地であったし、近世には東海道の終点となって通りをかこんで旅館、商店が並んで殷賑をきわめた。明治にはいっても京都の近代化を敏感に映して金融機関、問屋が進出してメインストリートの位置を確保した。――（老舗と味／桐村明／講談社／１９８４刊より）
昭和期の低迷を抜け、通りはいま少しずつ変容を迫られている。わたくし達は変化を受けとめつつこの通りが持つバックボーンを維持していく大事さを提起します。

明治 23 年当時、赤レンガ造りはそれを支えるために太い鉄線が通された。

明治 3 年創業の家邊徳時計店は当時、フランスやスイスなどからの輸入品を扱っていた。時計台は四方から見え、洋館になるまで三条通りで目立った存在だった。

まちの声　～見所編～

- 三条通は賑やかで、歩いていて楽しい
- 昔に比べて京都の中でもっともアートを感じられる通りと化している気がします
- すてきなお店がたくさんあっておもしろい通り
- おしゃれなお店が増えている
- 新しいものへと移り変わる現在の日本で、古き良きまちなみや建物を大切に残していこうとする三条通の試みは素晴らしいと思っています。
- 登録文化財として、町なみと調和しながら維持させていく事に責任を感じる
- 若い人向けのお店と共に、昔ながらの京の商店もあり、独特なまちなみだと思います。
- 永年この地で営業し変遷を眺めて参りました。その昔メインストリートであった三条通の復興に大いに拍手致しております。三条まちづくり協議会のご尽力と思っております。
- 上品な街並の通りがよい。
- 年々、お店が増えてどんどんきれいになっているので歩いているだけで楽しいと思います。
- 京都三条通そのものがブランドだと思います。
- 三条通は四条とは全く違った雰囲気があり、古い建物やお店、旅館がたくさんあって本当にすてきな通りだと思っています。そんな三条通に店舗をおくことができて喜びを感じています。

まちの声　～要望編～

- 日本で一番素敵な通りになると嬉しいです。
- いつまでも穏やかでゆったりとした所であってほしい。
- 街灯に続いて、統一看板もよろしいかと。
- 歩行者天国にしてもらえたらいいのになぁ！！
- 休日にある程度、車両通行規制はできないか？
- 車のスピードが出ない工夫がされるといい。
- 自転車置き場がほしい。
- 文化博物館を中心に歴史、文化の香る町になればと思います。
- 町単位、学区単位を越えた横のつながり、人と人とのつながりを大切にできる機会を作り、増やすべきだと感じます。
- 大人も子供も、車椅子の方もお年をめした方も安心して歩ける町に。
- 近隣で相互に話し合える関係作りが必要ですね。
- 南北の通り名の設置
- 京都らしい一文字瓦や格子等を使い、一昔前にまよいこんだようなまちなみ作りになって欲しい。
- 電線が埋まっていたら尚良い！
- 伝統建築は期間限定でライトアップしてほしい。
- 京都らしさを失わないよう、よい方向へ進んでいってほしいです。
- 空きビルの利用

YMCA会館は明治 43 年に施工された

祇園祭巡航中の風景。後ろは建設中の日本銀行

編　集　後　記

こんにちは。私たちはふだんまちづくりの勉強をしている研究室のメンバーです。三条通マップづくりプロジェクトを始動して三年が過ぎ、今ようやく三条通マップを皆様にお渡しする迄に至りました。これまで、色々なやりとり、また三条通に関する話もたくさん何うことができ、大変勉強になりました。ご協力して頂いた京の三条まちづくり協議会、三条通の各店舗・事務所の代表者やスタッフの方々にとても感謝しています。
今回のマップづくりは、この数年で人が増え始めその様相を変えてきた三条通の実態を調べながら、皆さんと一緒に今後のまちを考えることができれば良いなとスタートしました。新旧の住民の方々や仕事場として働く皆さん、更には来街の方方が、共にまちが抱える問題に取り組んだり、より美しく品のある通りを目指していくことを身近に感じられる、そのようなきっかけにして頂ければと思います。
本活動がそのような主旨のもとでの作業であるということをご理解頂き、また、間違いや不行き届きのところがあるかもしれませんが、何卒ご容赦のほどお願いしたく存じます。今後ともよろしくお願い致します。

京都工芸繊維大学佐々木まちづくり研究室及び
「京都三条プロジェクト」メンバー一同
連絡先（佐々木研）：075-724-7646

（各ホームページの紹介）

京都工芸繊維大学「京都三条プロジェクト！」
http://sanzyou.jugem.jp/
京の三条まちづくり協議会　http://www.san.jyo-kyo.jp
京都文化博物館　http://www.bunpaku.or.jp/
京都YMCA会館　http://www.kyotoymca.or.jp/
京都商建幕士会　http://www.kyoto-henchikushikai.jp/
佐々木まちづくり研究室　http://lab.aaa21.net

通りのかどより

大通りから戻ってこられたお方から、ここはほっとするまちやなとのお声をようきくんです。何でやろな、ずっと考えていたすえ少しずつ答えがまとまってきました。全体的になんや生活感のようなもんがありますのやろ、このまちは。それとお店の応対がゆうっくりしとる。ええ意味でいうならば、人と人との営みを感じるちゅうとこ。それから古いお店や建物がどっしりと、当たり前のように腰をおろしてるところあたりやね。
意外なイベント性もありましてな。祇園後祭りのみこし、文化博物館の旧日銀ホールや新風館野外ホールやらの各種イベント、YMCA のクリスマス行事にアートコンプレックスの劇上演、日本初のＮＰＯによるＦＭ放送三条ラジオカフェなど、あれこれ。
まちのあちらこちらで文化活動が芽生えてるちゅうのは、ありがたいことと考えてます。

D 家邊徳時計店

時計及びダイヤモンド・宝石類貴金属美術品を商う「家邊徳時計舗」は明治 4 年の創業。もとは町家に建ぐやらも見える時計台が付いていた。今の店は明治 23 年建築のレンガ造。やはり時計台があった。京都における民間の洋風商業建築としては最古のものの一つ。平成 16 年に「市民が選ぶ文化財」の第一号に認定された。

E SACRAビル

不動産貯蓄銀行京都支店として、大正 5 年に建てられた。RC 造の 3 階建て。建築当初そのままの外観で、補強・改装し、民間の商業ビルとして姿を残す貴重な存在。ルネッサンス様式の中にアールデコの影響がしのばれる。登録有形文化財。三条界わい景観整備地区の界わい景観建造物に指定されている。

F 日昇別荘

桃山時代からの豪商で、江戸時代糸割符商人「有未新兵衛」の屋敷だった。昭和 24 年から旅館として営業されている。
三条界わい景観整備地区の伝統的様式木造商家として指定されている。

J 長谷川松寿堂

創業は大正 8 年（1919）。昭和 11 年にここに移った。色紙・短冊などの和紙工芸品を扱う。平成 7 年に町家のスタイルにそわせたファサードの 6 階建てに建て替わった。4～5 階には中庭もある町家のプランが再現されている。第四回京都市都市景観賞京都市長賞を受賞。

K 京都府文化博物館別館

明治 39 年に日本銀行の京都支店として建築された。レンガ造りで地下 1 階地上 2 階建て。ルネッサンス調にゴシック様式を加えたもので、辰野金吾設計の建物の中でも最高傑作と謳われる。現在は京都文化博物館の別館として、一般市民に格調あい空間が開放されている。国の重要文化財。

L 中京郵便局

明治 35 年、京都郵便電信局として建築。赤レンガを基調としながらも、建物の隅の部分や窓枠などに石材を多く配した構成はルネッサンス様式で端正さを感じさせる。昭和 48 年に外壁だけを残して、内部を新築した外壁保存方法は、日本における初めての事例である。京都市登録文化財。

明治 38 年からそびえる中京郵便局

三条東桐院より北を望む
右は郵便局、左は電信分局